

2017
釜山国際映画祭
最優秀ドキュメンタリー賞 受賞

2017
山形国際ドキュメンタリー映画祭
市民賞 受賞

2017
東京フィルメックス
観客賞 受賞

ニッポン国から棄てられた民が国に問いたただす

ウチらの命、なんぼなん？

ニッポン国 VS 泉南石綿村

監督:原一男 『ゆきゆきて、神軍』『全身小説家』

製作:小林佐智子

撮影:原一男 | 構成:小林佐智子 | 編集:秦岳志 | 整音:小川武 | 音楽:柳下美恵

制作:島野千尋 | イラストレーション:南奈央子

助成:大阪芸術大学芸術研究所 JSPS科研費

製作・配給:疾走プロダクション | 配給協力:太秦 | 宣伝協力:スリーピン

2017年/215分/DCP/16:9/日本/ドキュメンタリー ©疾走プロダクション

docudocu.jp/ishiwata

SENNAN ASBESTOS DISASTER



悔し涙が止まらなかった日。怒りに震えて立ち尽くした日。それでも、前へ……!

『ゆきゆきて、神軍』から31年。
「平成」という時代のニッポン人の
自画像を描きました。
——原一男

『ゆきゆきて、神軍』が最後まで猛ダッシュしている映画であるとすれば、
『ニッポン国VS泉南石綿村』はゆっくりと燃え続けていく競歩であると言えよう。
原は、心痛に耐えない被害者の肖像を神業的なブラックユーモアを交えながら
迫っている。この巧妙な混在が、プロの映画人や観客の心に届き、
各映画賞の授賞をもたらしたのである。
きっと原一男の系譜と美学が、より受け入れられることだろう。——ハリウッドレポート

物質汚染によってもたらされた政治的な環境変化を被った被写体を、
食欲で好奇心旺盛な原一男が細部にまで神経を尖らせ、
新しい表現方法を探求しながら、
見せ尽くした映画である。——mubi.com



ニッポン国 VS 泉南石綿村



監督：原一男 『ゆきゆきて、神軍』『全身小説家』

製作：小林佐智子
撮影：原一男
構成：小林佐智子
編集：妻岳志
整音：小川武
音楽：柳下美恵
制作：島野千尋
イラストレーション：南奈央子
助成：大阪芸術大学芸術研究所 JSPS科学研究費
製作・配給：疾走プロダクション
配給協力：太秦
宣伝協力：スリーピン
2017年/215分/DCP/16:9/日本/ドキュメンタリー
©疾走プロダクション



「大阪・泉南アスベスト国賠訴訟」、8年間の全記録。

docudocu.jp/ishiwata

4.14(土)より圧巻のロードショー!

全国共通特別鑑賞券 1,800円(税込)を当館受付にて発売中!

【同時公開】原一男監督特集上映 4/14(土)ー5/4(金) ※詳細は劇場に問い合わせ

【当日料金】
一般 2,200円
会員 1,800円
大専・シニア・
高校生以下 1,500円

R16 長者町5丁目交差点沿
横浜シネマリン
045-341-3180
www.cinamarine.co.jp